

「カワタの脱湿乾燥機（CHALLENGE CES^{セス}シリーズ）が
プラスチック成形工場の CO₂20%削減に貢献」
（省 CO₂設備導入支援事業として交付決定）

大阪府では、地球温暖化対策を推進するため、大阪府グリーンニューディール基金を活用して、「大阪府民間事業者省 CO₂設備導入支援事業補助金」を創設し、民間事業者による二酸化炭素削減効果の高い設備（以下「省 CO₂設備」といいます。）の導入を支援している。

このたび大阪府下の民間事業者の申請により、カワタの脱湿乾燥機（CHALLENGE CES^{セス}シリーズ）が省 CO₂設備導入支援事業として交付決定されました。

当社は2年前に開催の「IPF（国際プラスチックフェア）2008」展から「CHALLENGE CES」のコンセプトを掲げ、省エネ対象機器の開発を進めてきました。
現在では、乾燥機の約50%が“CHALLENGE CES”製品で占めています。

CHALLENGE CESは、C（お求め安い価格 Cost）、E（省 Energy）、S（省 Space）の取り組みで、今回認定された脱湿乾燥機 DFA シリーズは、プラスチックの乾燥時に出る排熱を1部循環させて、電気容量を当社従来機比20%低減し、プラスチック成形工場の CO₂削減に貢献しています。

対象となる「省 CO₂設備」は、以下のとおりです。

- ①高効率ボイラー、排熱回収装置その他の生産及びその付帯設備であって、二酸化炭素削減効果の高いもの
- ②高効率空調設備、LED 照明その他の建築設備であって、二酸化炭素削減効果の高いもの
- ③高反射率塗料、窓用日射遮蔽フィルムその他の建築物外皮による空調負荷低減等技術であって、二酸化炭素削減効果の高いもの

また、今回の設備導入予定企業は
泉州工業株式会社本社工場（大阪府和泉市テクノステージ3丁目4-8）
導入機器 DFA-150Z（排熱回収型機能をもった脱湿乾燥機）

当工場では、ISO14001 の環境保全活動を積極的に取り組んでおり、カワタ機器の導入により一台あたり年間約2トンの CO₂削減が可能と試算しています。

大阪府では2010年度も同様の補助金制度の実施に向けて予算化を計画しており、カワタでは引き続きCO2削減に寄与する機器を開発・販売予定です。

カワタでは、さきほど政府によるグリーンニューディール基金の創設（100億円）が2009年度2次補正予算案の温暖化対策の一環として発表されたこともあり、民間事業者の設備投資意欲が高まると期待しています。

以 上

— この件の問い合わせ先 —

株式会社 カワタ

経営企画室 課長 永田 まで

TEL 06-6531-8211